

その他の事業のその他におけるその他災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	店舗の売場にて、対面販売のため、連日大きな声を出していたことにより、声帯に負荷がかかり声が出なくなり、一般のものよりも固く大きな声帯結節が生じた。	44～29	10～29
3	11～12	病院診察室にて猫の診察中、保定をしていて噛まれた。	45	1～9
3	17～18	病院の処置室内において、処置台の上で猫の処置をしている最中に、リードでつなぎ床で待機させていた犬に足を噛まれた。	34	10～29
5	12～13	お客様のご自宅の庭にて、中型犬の散歩をしてリードを外そうとした時に噛まれた。	36	1～9
5	10～11	エレベーターで36階の会場へ移動中に耳鳴りがし、頭痛、吐き気を感じた。しばらくすると右耳が聞こえなくなった。	34	1～9
6	19～20	帰宅後、両手の人差し指・中指・薬指の計3本の指の付根付近に痛みとしびれが生じた。翌日に病院を受診したところ、腱鞘炎と診断された。その後も業務に従事し続けたところ、痛みがひかず、新たに親指にも痛みが生じ、手根管症候群と診断された。	43	30～49
7	8～9	外国人技能実習生の面談のため客と共にベトナムへ出張に行った。その際、蚊に刺された、帰国後6日後に発熱し2日後に受診、その2日後に特殊感染のおそれがあるため転院となる。精査の結果、デング熱と判明した。	32	1～9
		活動室外のテラスにいた行動障害のある利用者に、活動室の中に入るよう声をかけ		100

7	13～ 14	たが、声かけに応じず腹這いになったため、さらに室内への移動を促し肩を引っ張ったところ、怒った利用者に蹴られて負傷した。	54	～ 299
7	11～ 12	勤務中、猫に右手と左手の指を噛まれた。	24	1～ 9
9	12～ 13	犬の散歩中に右前腕部をかまれ受傷した。	60	1～ 9
9	11～ 12	病院内手術室にてパートスタッフ1名で半野良猫の体重測定及びノミ・ダニ駆除の為、ケージからネット内に移す際暴れ出し、取り押さえようとして右手の人指し指、手の甲、腕に複数回受傷、右手、人指し指に痺れが残る。本来、野良猫の管理は慣れたスタッフ2名で保護手袋を着用し行うものとされていたが、周知されていなかった。	36	1～ 9
10	13～ 14	当社の動物病院内で治療のため猫を抱っこしていたところ、手をすり抜けて逃げたので、捕まえたと同時に他のスタッフが加湿器のフィルターを掃除しようとスイッチを入れたため、その音に猫が驚き飛び跳ね、あわてて確保しようとした際、その猫にかまれ負傷した。	20	30 ～ 49
10	12～ 13	トリマー業務中に犬に噛まれ、大丈夫かと思っていたが、我慢できない痛みがあった。右手小指第一関節を骨折していた。	21	10 ～ 29
10	18～ 19	美容院内で猫をシャンプーしていたら急に暴れだして逃げようとしたので捕まえようとしたら、猫がパニックになり右第2指第2関節をかまれた。	56	1～ 9
10	13～ 14	事務所の2階の事務スペースでPCにて設計の作業中に椅子より滑り落ちる感覚で床に倒れた。（右被殻出血）原因としては慢性的に長時間労働が続いていたためと思われる。	36	10 ～ 29
	14～	当月頃から体の不調感が出始め、39度の発熱で欠勤し、内科を受診した。当初は風邪かと思えばしばらく欠勤し、まだ体調は不完全であったが2日間出勤した。翌朝にまた高熱が出たため欠勤し、内科を受診した。解熱剤が切れると熱が上がるのと、熱が何日も続き過ぎることで風邪ではないかもしれないということで、詳しく		10

11	15	調べるため別の病院に紹介状を書いてもらい、そのまま緊急入院となった。検査の結果、仕事の疲労の積み重ねにより抵抗力が低下しているところ、職場にて人獣共通感染症（コリネバクテリウム属、ジフテリア、大腸菌など）に感染し、それにより感染性心内膜炎を発症したとのことであった。	41	～ 29
11	12～ 13	当日の就業場所への通勤途上において、当該美術館入場用のスタッフパスをスタッフから受け取るため、美術館玄関の向かって左側の敷地内で待っていた際に、酔っていた行人にいきなり右腕を引っ張られ負傷した。なお、当該労働者は、当社の音声ガイドの機械貸し出しの業務を行う予定であった。	50	100 ～ 299
11	5～6	単身赴任して三年目、仕事も生活も安定していたが、思いがけない会社不祥事の発覚で、公表の前後数ヶ月間は事業所やグループ会社の内部調査、報告の特命を受け、通常業務外の出張、会議、事務処理等が続き、疲れている様子だった。発症当日も出張し、自宅で就寝中、明け方に激しい頭痛で目覚め、立ち上がろうとしたが立てず、呻き声に妻が異変を感じて119番に連絡し、搬送された。尚、先日、出張先から帰宅中、突然右後頭部に強い刺激痛があり、右目に異状を覚えたが、今となればこれが前兆かもしれない。	44	500 ～ 999
12	11～12	学童クラブの室内で、子ども同士のケンカがあり仲裁に入った際、子どもの肘が右胸横側に入り当たった。痛みが伴うため湿布を貼って業務を続けていたが、室内で玩具の片付け中に子どもが指導員の前を通ったときに子どもの手が痛めた右胸横側に当たり、痛みが増し、業務を続けることができなくなった。	59	—

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html